

カワウの生息地としての愛知県①

- 大きな内湾
伊勢湾・三河湾
- 遠浅の海
内湾+表浜
- 多くの河川
木曾川・矢作川・豊川
- 盛んな農林水産業
平野部のため池
沿岸部の養魚池

→多様な水辺の環境や人の活動が生息に影響

カワウの生息地としての愛知県②

- カワウとの共存共栄の時代(100年以上)
知多半島「輪の山」で1839(天保10)年頃~1966(昭和41)年
→探養、その後も観光事業は継続 佐藤(1996)
- カワウ減少期の数少ない生息地
多くの地域でカワウがいなくなった1970年前後
→知多半島「輪の山」にカワウ生息(当時最大)
- 他地域に先駆けて個体数が増加
1980年代から有害駆除が始まる
- 個体数増加に転じて50年近く経過
→現状は? 個体群管理の方向性は?
→生息状況の変化とともに
人とカワウの多様な関係が見られる

愛知県でカワウの生息状況を把握するためにやっていること

- カワウのねぐらやコロニーを見つける
- ねぐらやコロニーで個体数を数える
- コロニーで栄養数を数える
- 餌場への飛来状況を見る
- カワウの移動状況を見る

※県、漁協、野鳥の会、大学、その他多くの方々がカワウの調査に関わってきた。

1. カワウのねぐらやコロニーを見つける





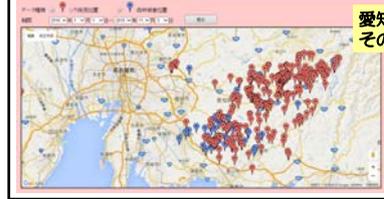
- 朝カワウが飛んでくる方向、夕カワウが飛んでいく方向に注意する。
- こちらには、ねぐらはないはずだけど・・・

- 地図で水辺にある緑地を確認
- 現地に行ってコロニー確認
- 近所の人にいつ頃かいるか聞き取り
現地の人は知っている



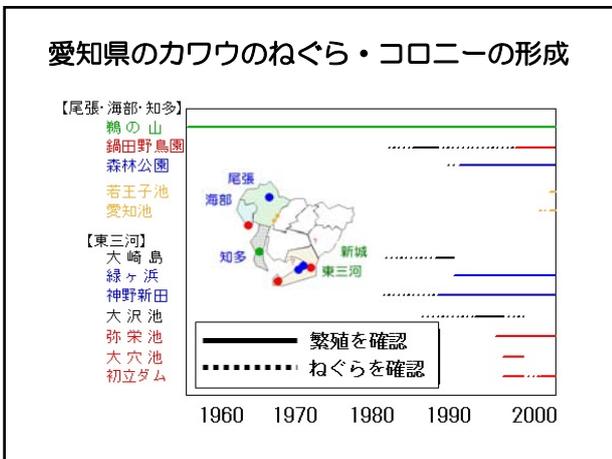
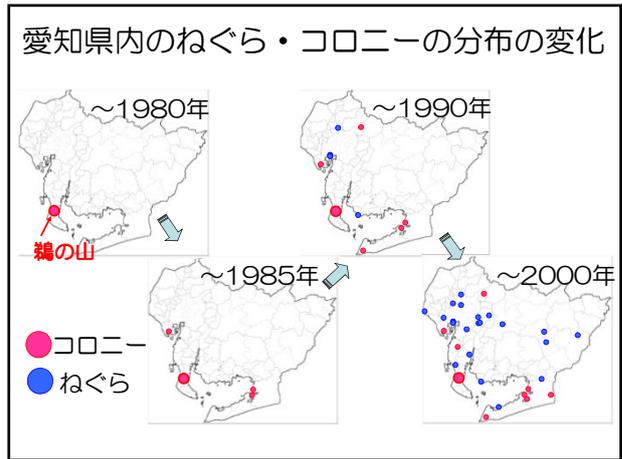
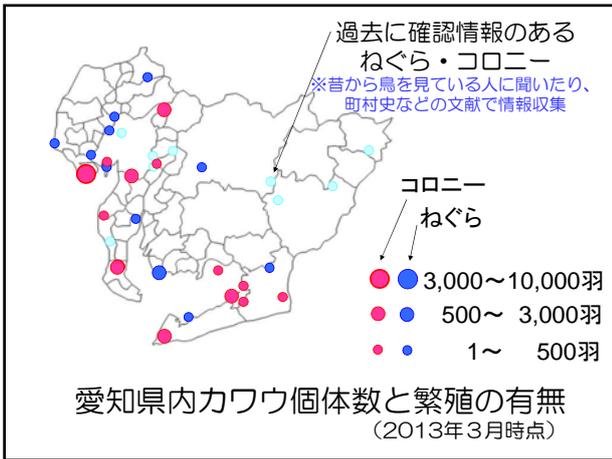
- 調べていることがわかれば、教えてもらえる
植物採集の人、釣り好きの人、etc
- カワウではないですが・・・
ホームページを活用したカワウの目撃情報収集システムを構築する方法もある。

【入力画面】

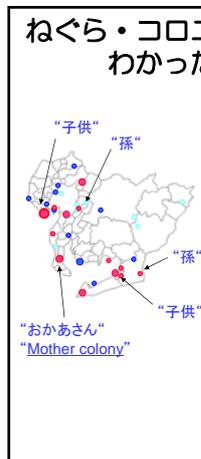


愛知県で試行中のシカとその被害目撃情報収集システム

【結果表示画面】

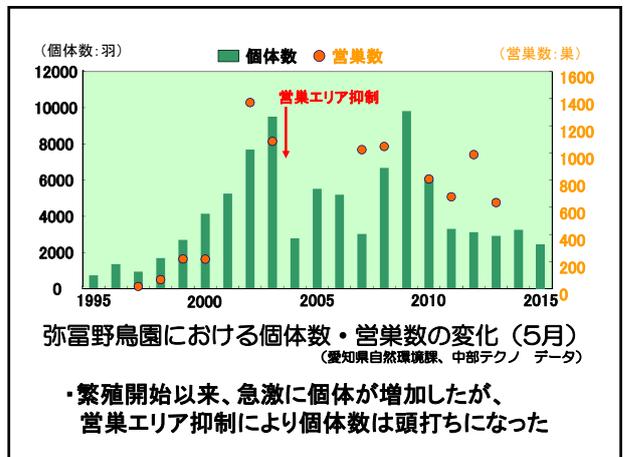
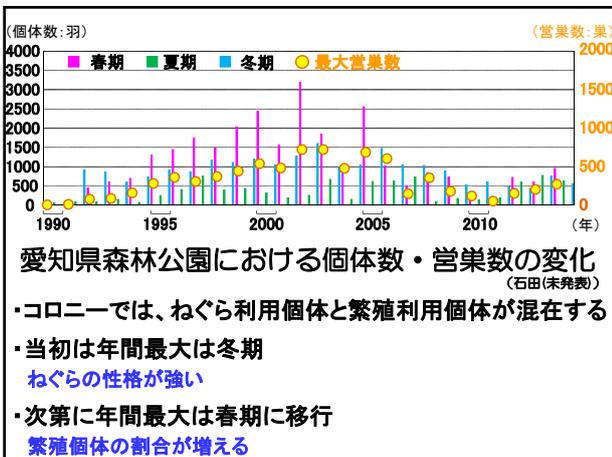
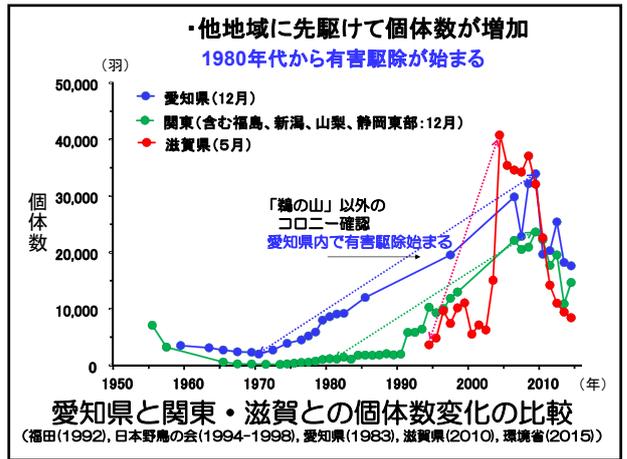
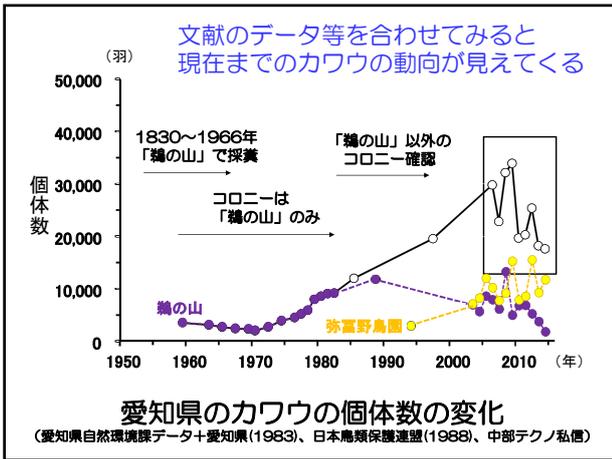
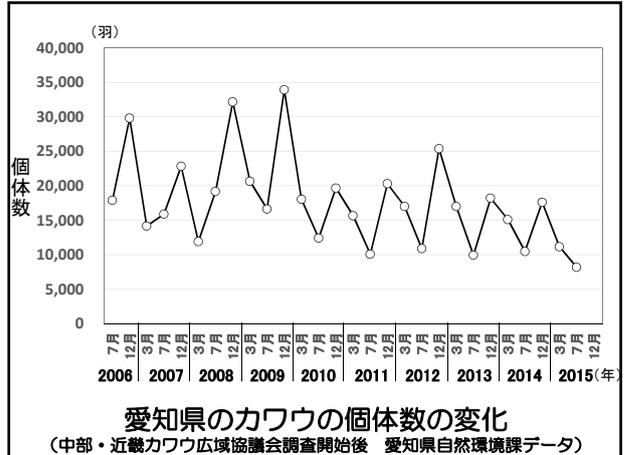


ねぐら・コロニーの分布変化から わかったこと、考えられること

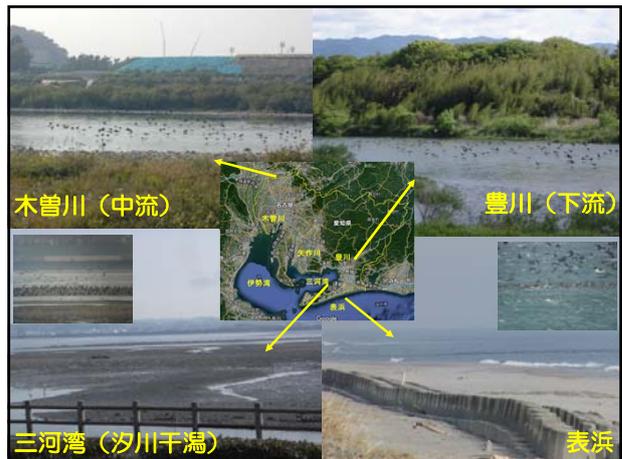


- コロニーは、ねぐらから始まる
- 県や地域で最初にコロニーができる場所は、個体数増加の起点となる
おかあさんと子供、孫の関係
良好な餌場&攪乱のない水辺の林
- コロニー成立の順番は、条件の良さや分布拡大の流れ（他地域からの増加圧）を表している？
追い出し難さの順とも考えられる
→対策を考える上で考慮すべき点
- コロニーは、
大規模・少数から小規模・多数へと推移
一度追い出されても復活することが多い

- 2. ねぐらやコロニーで
個体数を数える
- 3. コロニーで営巣数を数える



4. 餌場への飛来状況を見る



5. カワウの移動状況を見る

